

# 戦国近江と寺院



金森・善立寺



敏満寺城跡の土塁



中世百済寺の参道

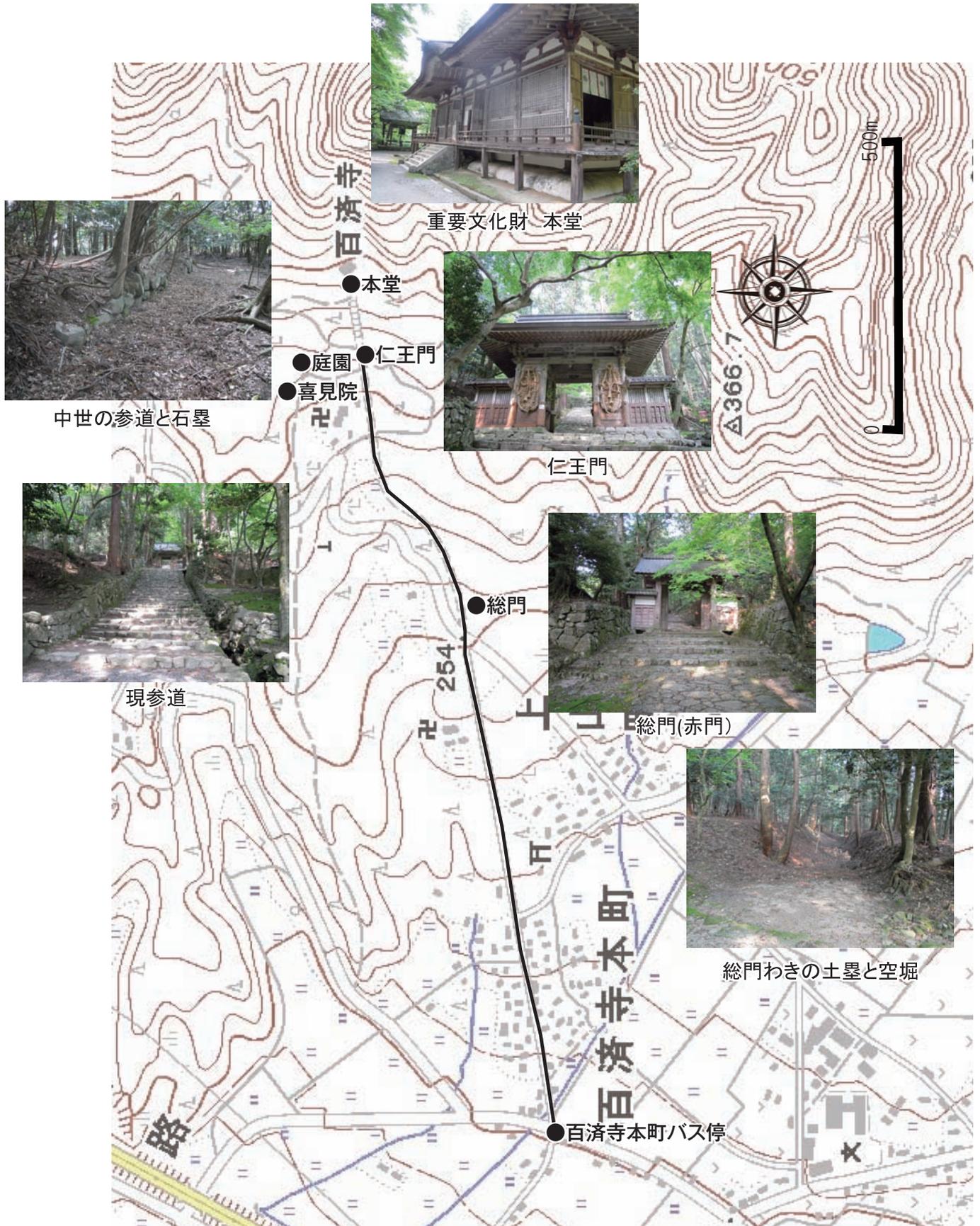
発行：令和2年10月10日  
 編集：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課  
 安土城・城郭調査係  
 〒520-8577  
 滋賀県大津市京町四丁目1番1号  
 TEL.077-528-4678 FAX.077-528-4956  
 Mail castle@pref.shiga.lg.jp



# コース1 百済寺(東近江市百済寺町)

## 釈迦山百済寺

推古14年(606)聖徳太子開基と伝えられる古刹です。中世には北谷・東谷・西谷・南谷の四谷に多くの坊が広がり、ルイス・フロイスが「地上の天国である僧の住屋が一千戸あった」と記すほどの寺勢でした。天正元年(1573)の織田信長の焼き討ちで全山が焦土と化しましたが、江戸時代に復興しました。参道沿いに坊跡が階段状に並ぶという典型的な山岳寺院の構造を有していますが、参道の両側に石塁が築かれ、土塁や空堀が築かれるなど、防御を意識した遺構が見られます。





敏満寺

敏満寺遺跡は青龍山（333m）を御神体として、12～16世紀頃に繁栄した寺院跡です。永禄5年（1562）、浅井長政は敏満寺を攻め、火を放たれた敏満寺は、この時120はあったとされる坊舎の多くが焼失してしまいました。更に元亀3年（1572）には織田信長に攻められ、残っていた堂塔坊舎を残らず焼かれてしまい、寺領と信仰を失った敏満寺は衰退の一途をたどることになりました。遺跡で実施された発掘調査で、土塁や空堀、門跡などの城郭関連遺構や、土塁や溝で区画された町屋を思わせる遺構が発見されています。



多賀大社本殿



敏満寺城跡全景



敏満寺遺跡 土塁



敏満寺城跡虎口



名勝胡宮神社庭園



敏満寺仁王門跡



# コース3

# 金森寺内町(守山市金森町)

## 金森寺内町

金森は、東山道と志那港（草津市志那町）を結ぶ志那街道に位置します。山門による大谷破却の後、蓮如が高弟の川那辺道西を頼って滞在しました。金森惣道場を中心に、周辺に寺内町が形成されていました。現在、真宗大谷派善立寺・因宗寺と金森懸所（金森御坊）が隣接して建つあたりが惣道場だったと考えられます。寺内町の南、字城の下の地は金森城の跡です。元龜2年(1571)の織田信長の攻撃に対し、門徒たちは金森城に籠もって抵抗しましたが、最終的には開城しました。翌元龜3年(1572)には信長から金森宛に楽市楽座の掟書が出されています。

**重要文化財 東門院五重塔**

**懸所(金森御坊跡)**

**蓮生寺の土塁**

**芦浦観音寺の門**

**重要文化財印岐志呂神社本殿**

**志那港近くに建つ蓮海寺**

**重要文化財 志那神社本殿**

**南北朝内乱の故地 一夜伏塚**